

お知らせ



令和7年3月17日

資料提出先 鳥取県政記者会
鳥取市政記者クラブ

水路や河川へ一度に流れる水の量を調節 ～道路の高架下に雨水貯留タンクを設置します～

一級河川千代川では、気候変動による水災害リスクの増大に備えるために、流域のあらゆる関係者（行政・企業・住民等）が協働して水災害対策を行う「**流域治水**」を進めています。

このたび、大雨が降った時の道路排水を一時的に貯留タンクへ貯め、水路や河川へ一度に流れる量を調整し、洪水のピークを遅らせることを目的に国道の高架下へ「**雨水貯留タンク**」を設置します。

日 時：令和7年3月22日（土） 10:00～

設置場所：鳥取市宮長（国道29号高架橋下）

※当日は、地元のみなさまを対象に雨水貯留タンクへ実際に水を貯めるデモンストラクションを行います。

問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

【担当】副 所 長 むらかみ 村上 ともあき 友章
【担当】流域治水室長 きよつな 清綱 やすし 保志（流域治水推進室）

TEL 0857-22-8435（代表）

FAX 0857-29-1859

* 本資料は、鳥取河川国道事務所HPの「記者発表」ページでも公開しています。

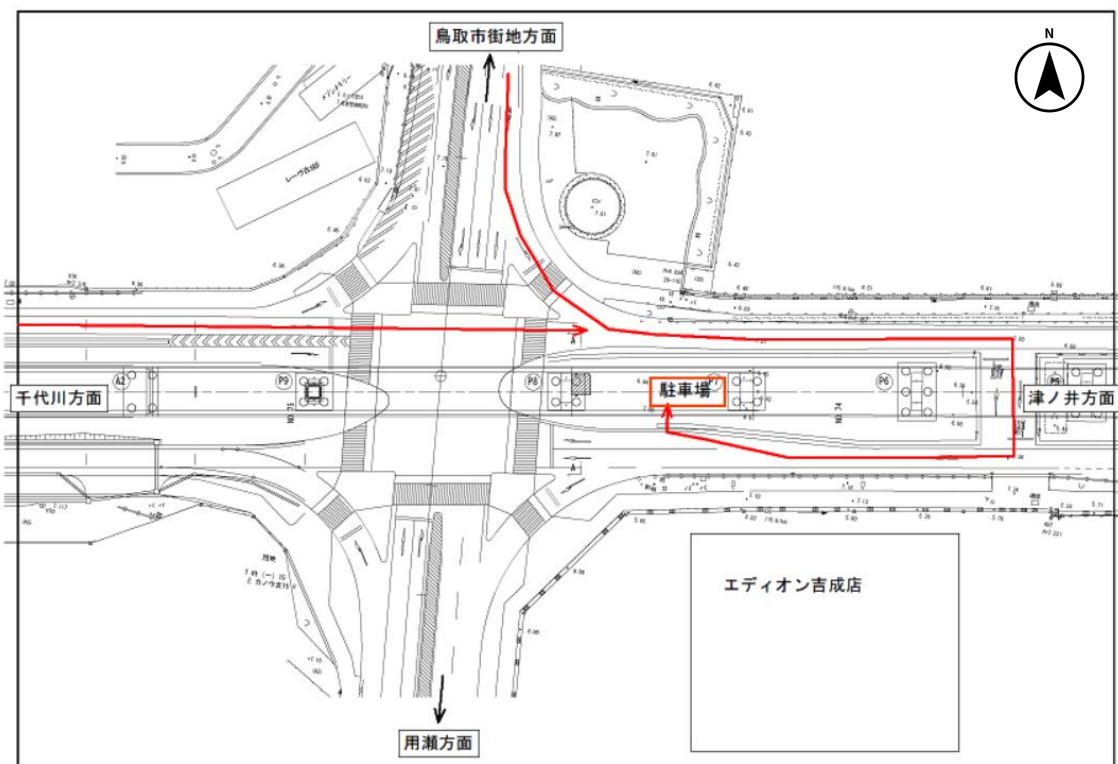
<https://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/index.html>

広域図



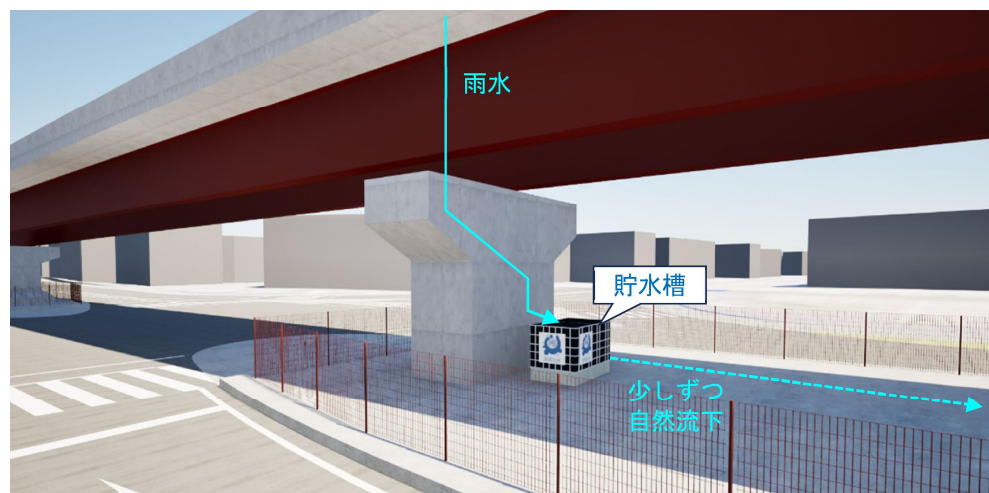
詳細図

鳥取市街地より津ノ井バイパス吉成交差点の側道を進み高架下を右折して駐車場へお進み下さい。

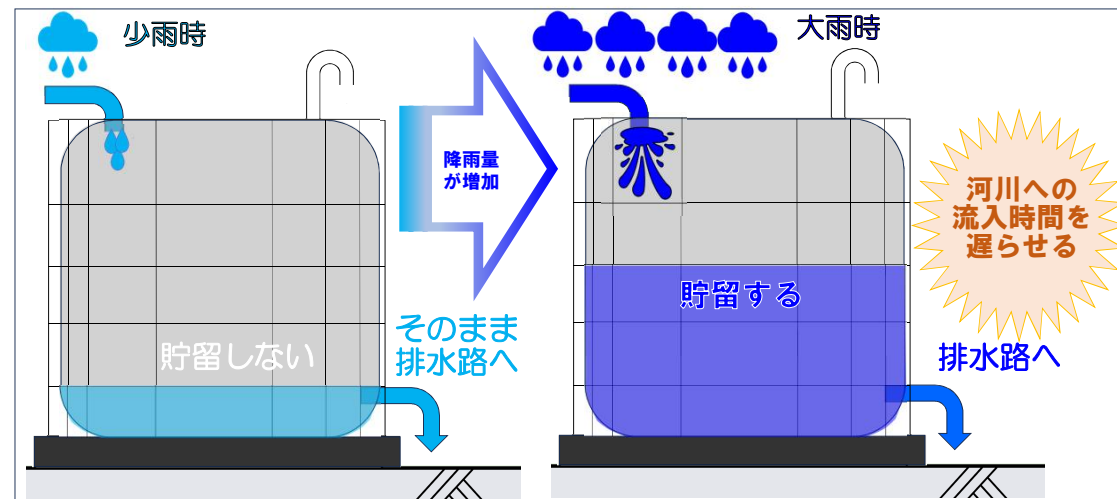


道路の高架下で 雨水貯留 をはじめました

千代川流域で実践している「流域治水」の取り組みの一つとして、大雨が降った時の道路排水を一時的に貯留タンクへ水をためることで、排水路やその先の河川の水位が急に上昇するのを抑えます。



現地設置イメージ



効果(貯留)イメージ

雨水貯留タンクの概要

- ・1時間あたり約20mm以下の雨は貯めずに、そのまま流下します。
- ・約20mm超える雨は、一時的にタンクに貯留し時間をかけて排水路に流下させます。
- ・雨水貯留タンクは、家屋等に降った雨を一時的に貯留し、時間をかけてゆっくり排水することで、水路や河川へ一度に流れる量を調整し、洪水のピークを遅らせる効果があります。

流域治水のとりくみ

気候変動による水災害リスクの増大に備えるために、流域のあらゆる関係者(行政・企業・住民等)が協働して水災害対策を行う「流域治水」を進めています。

千代川水系流域治水プロジェクト

検索

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

〒680-0803 鳥取県鳥取市田園町4丁目400番地 TEL (0857) 22-8435(代表)